

ID ^{注1)}	181205	公開レベル ^{注1)}	C	保管形式 ^{注1)}		保管場所 ^{注1)}		前回ID	171207
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	--	---------------------	--	------	--------

報告書名称 /調査名称	平成30年度 白神山地周辺地域（青森県側）における小型囲いわなによるニホンジカ力の試行的捕獲	発行年月/報告年月	
		2019年	2月
		資料形式 ^{注2)}	

調査機関	東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター	委託機関	
------	-------------------------	------	--

調査開始年	2016年	10月	調査期間	2018年	4月	～	2018年	12月
-------	-------	-----	------	-------	----	---	-------	-----

調査頻度 ^{注2)}	毎年	—	調査時期 ^{注2)}	春	—	秋
---------------------	----	---	---------------------	---	---	---

ヒカリツ計画	2017年3月 策定	区分 ^{注2)}	ⅡB	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)}	(3)
--------	------------	-------------------	----	--------------------	---	--------------------	-----

調査箇所・範囲 ^{注3)}	調査手法
------------------------	------

核心地域 緩衝地域 周辺地域
 GPS等の位置データあり



※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

■目的
 近年白神山地周辺で相次いで目撃・撮影されているニホンジカについて、越冬する可能性が高い海岸寄りの低標高地に、獣サイズ判別センサー（写真メール通報機能付き）を搭載した小型囲いわなを1基設置して捕獲を試みた（写真1）。

■設置箇所
 深浦町 深浦山国有林 3055ほ1 林小班内（図1）
 （平成30年度 中・大型哺乳類調査業務のセンサーカメラ設置箇所③①、③②の直近）

■わな：四国森林管理局で開発された『シカ捕獲用小型囲いわな』
 高さ130cm×幅75cm×奥行き180cm、重量58kg

■獣サイズ判別センサー：アニマルセンサー2（㈱アイエスイー）

■わな入口付近の観察用センサーカメラ：TREL10J-D（株）GI Supply）1台（動画撮影）

■誘引剤：ユクル（日鐵住金建材株式会社）
 ハイキューブ・チモシー（有）ワールド牧場）

■稼働期間
 平成30年4月25日～5月31日、9月25日～12月28日
 （土日祝日はゲートを固定）

結果概要（スペースに収まるように入力してください）

4月19日、小型囲いわなにアニマルセンサー2を取り付け、わなの内外に誘引剤としてユクル・ハイキューブを撒いて、電源は入れずにゲートを開けたまま固定した。春期の捕獲事業は4月25日より開始し、5月31日まで毎週開けにアニマルセンサーの電源を入れて、週末に電源を落とす作業を継続した。秋期は9月25日より稼働させたが、9月12日に秋期稼働前の現地確認をした際、わな内外に繁茂したフキなどの草本類でセンサーが誤作動をおこさないよう刈り払ったため、誘引剤としてユクル（砕いた物）・ハイキューブを再度撒いた（写真2）。10月12日、前に刈り払った影響が草本類が少なくなったため、誘引剤としてユクル・ハイキューブを撒いた（3回目）。12月10日にわな周辺地域で降雪があったものの、わな周辺に草本類等が見られたため、12月28日の秋期捕獲事業を終了させるまで誘引剤を追加することはなかった。

小型囲いわな稼働日数（＝アニマルセンサーの電源を入れた日数）は4月：3日、5月：18日、9月：2日、10月：21日、11月：19日、12月：19日、以上82日で、稼働期間中に大型哺乳類がわなにかかることはなく、わな入口に向けて設置したセンサーカメラ（動画）を確認したところ小型・中型哺乳類についてもわなの中に入ることが確認できなかった。

わなの入口に向けて設置したセンサーカメラ（動画）と、わな周辺のセンサーカメラ⑦・③①・③②（図1）で撮影された動物の確認種と個体数を表1に示す。なお、わなの動画撮影のカメラ（TREL10J）はインターバル30分・センサー感度高・一回の撮影で30秒間撮影されるように設定し、延べ248日間設置した。一方、静止画撮影のカメラ（TREL10J-D）⑦・③①・③②は、11月末日までインターバル30分・一回の撮影で3連写されるように設定して220日間、12月からインターバル0分・センサー感度低・一回の撮影で30秒間撮影されるように再設定して28日間、延べ248日間設置した。連写された場合は、一連の撮影で写った最大個体数をカウントして取りまとめたものであり、動画は撮影時間内にカウントできた最大個体数をとりまとめたものである。

ニホンジカについては、3箇所から1頭ずつ、合計7頭が撮影されたが、動画により撮影された同日同時刻で複数箇所で確認されたものがあるため実際の合計頭数は下回ると考えられる。その他に錯誤捕獲の恐れがあるツキノワグマが合計1頭、カモシカが合計24頭撮影され、外来種のハクビシンが合計7頭撮影された。

問い合わせ	東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター 〒038-2754 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字米町25-2 TEL：0173-72-2931 FAX：0173-72-2932 《原本（データ）の帰属について》
-------	---

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考

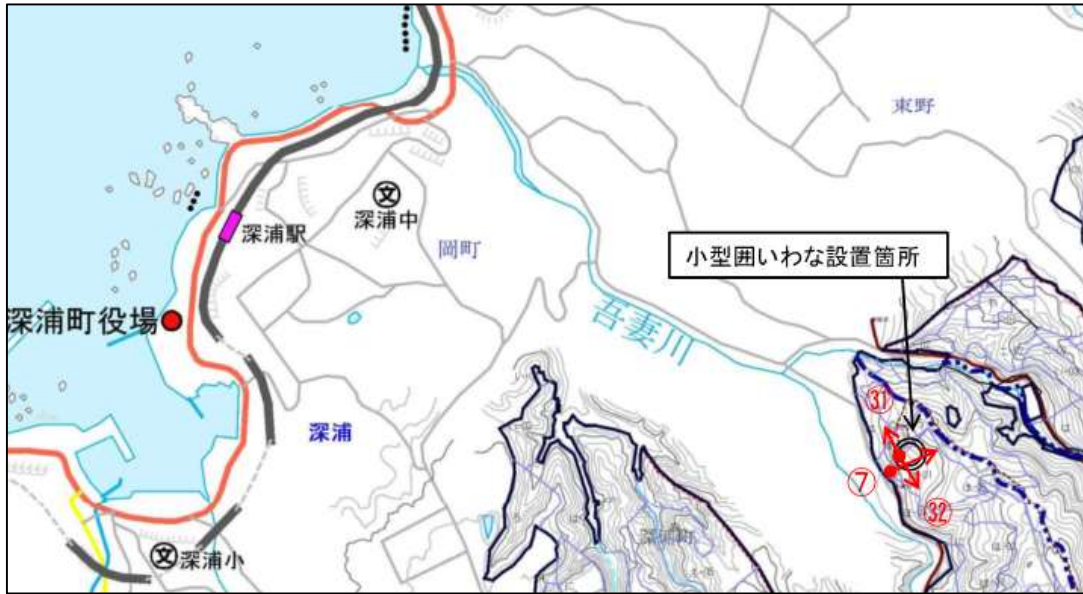


図1 平成30年度 小型罠いわな設置箇所:◎
 (⑦・③①・③②:中・大型哺乳類調査業務のセンサーカメラ設置箇所)



写真1 小型罠いわな (4月19日)



写真2 ユクル・ヘイキューブ (9月12日)



写真3 ニホンジカ♂ (⑦:10月31日)

表1 わな・⑦・③①・③②で撮影された動物

種名	動画	静止画			動画			合計
	わな	⑦	③①	③②	⑦	③①	③②	
ニホンザル	46	10	7	4	10	28	48	153
キツネ	1	3	3	5				12
タヌキ	3	1	6	4	1	3	2	20
ツキノグマ			1					1
テン		2	2			1	1	6
アナグマ	3		1	2				6
ハクビシン	1	5	1					7
ニホンジカ		3		2	1	1		7
カモシカ	2	6	11	3	1	1		24
ニホンリス	1		25				1	27
ニホンウサギ	6		3	4	4	2		19
不明ネズミ類			1					1
不明哺乳類		2	11	2				15
哺乳類個体数合計	63	32	72	26	11	38	56	298
哺乳類種数合計	8	7	10	7	2	6	7	11
ヤマトリ	1					1		2
全個体数合計	64	32	72	26	11	39	56	300
全種数合計	9	7	10	7	2	7	7	12



写真4 ニホンジカ♂ (③②:12月13日)